

# 学校通信

学校生活における大切なお知らせです

4

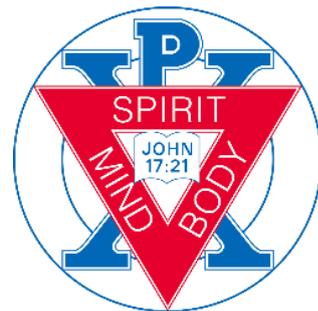
2025 APR.

第263号

## 学校長からのメッセージ

「みんなのものが一つとなるように」

この聖書の言葉がYMCAの正章の中心にあり、本校でも様々な機会をとらえて理解を深めています。2月のピンクシャツデー（いじめ防止運動）では、立命館大学からLGBT当事者の学生さんを招き、生徒と交わりの時間をもち、彼ら彼女らの生き方や考え方に触れ、生徒たちは深く感銘を受けていました。また、卒業礼拝ではベトナム出身の卒業生が、母国を離れ苦勞した中学時代のことや高校生になって学ぶ楽しさを知ったことなどを語りました。



以前、本校の初代桜井校長が聖書の一節を紹介されました。「神の国を何にたとえようか。パン種に似ている。女がこれを取って三サトンの粉に混ぜると、やがて全体が膨れる（ルカ13:20-21）」と。小麦粉だけではパンは膨らまず美味しくならない、けれどイースト菌を加えることで発酵してふっくらと美味しいパンになる。つまり異なるものをいれることでおいしくなる。という意味です。同じ学力、同じような進路を目指す生徒たちの学校は、教員はやりやすいかもしれませんが。生徒もよく似た価値観の同級生ばかりで楽しく学校生活を送れるかもしれません。

しかし、人は様々な出会いの中で実り豊かになると私たちは考えているのです。生徒たちが異なる価値観や背景を持つ人と出会い、時には葛藤し、悩み、考え、理解しようとすることで成長する、そのような学校でありたいと思っています。

今、世界には、ダイバーシティ（多様性）やインクルージョン（包摂性）を否定しようとする国があります。しかし、私たちは「違いこそが豊かさを生む」と信じています。私たちの学校に様々な生徒がいること、それは世界中のYMCAが願う「多様性の中で共に生きる社会」の縮図であり、その中であって、生徒たちの成長に尽力できることは、私たちの誇りです。

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。今、不安や心配があるかもしれません。でも、どうか安心してください。私たち教職員一同、全力で応援します。

（校長 鍛冶田千文）

学校法人 大阪YMCA  
YMCA学院高等学校

〒543-0073 大阪市天王寺区生玉寺町1-3  
TEL 06-6779-5690 FAX 06-6779-1831



こちらから大阪YMCAの機関紙  
「大阪青年」にアクセスできます





## 今月の聖句

「神は、わたしたちが行った義の業によってではなく、御自分の憐れみによって、わたしたちを救ってくださいました。」

(テトスへの手紙 3章5節)

私たちの生きている世界では、誰かから何かをしてもらう時に、いろんな条件を満たすことが求められます。子どもの頃であれば、宿題をしたらゲームをしていいというようなことを親から言われたことがある人が多いでしょう。宿題をするという条件を満たせば、ゲームをするのを許されるわけです。高校や大学の受験でも同じです。合格ラインの点数を取るという条件を満たすことで、その学校に入学することが許されるのです。

大人になってからもいろんな条件を求められることがあります。仕事をするにもそのための資格を持っていることが条件である場合が多いです。そのような世界で生きていると、知らず知らずのうちに人と人との関係においても、相手に何かしらの条件を求めてしまっていることはないでしょうか。私のことを理解してくれるからあの人とは仲良くする、とか、あの人にはいろいろとお世話になっているから年賀状を出しておこう、とか、何か条件がある上で自分の行動を決めてしまうということがないでしょうか。そして、あの人を愛してくれるなら私もあの人を愛してあげる、というような思いも出てくるかもしれません。個人の問題だけではなく、組織と組織、国と国といった関係においても、何かしらの条件が求められることがほとんどです。それが人間の社会での「当たり前」なのかもしれません。

ところが、私たち人間に何の条件も求めることなく、ありのままの私たちを愛してくれて救ってくれる存在があるというのです。それが神様というお方です。条件を満たすため頑張らなければならない人間社会に生きる私たちですが、ありのままの自分を愛して救ってくれる神様と向き合い、ホッと一息つく時間も大切にしたいものです。

(福島義也牧師 日本基督教団河内長野みぎわ教会)

